



6. 将来的に新川ウォーターフロント共同企業体が目指すところ

今回の八千代市の新川周辺でのワークショップを中心とする取組が、次年度以降、印旛沼や花見川の市域をまたいだ広域的な取り組みにつながっていくとともに、今回の事業に関わった人材それぞれが、エリア全体のビジョンの共有のもと、自治体と連携し取組を継続することで、将来的には利根川から東京湾までの河川を含めた公有資産に訪れる人や活用する事業者、所有する自治体それぞれがその役割を意識し連携することで地域内での経済循環を促し、エリア全体の価値の向上につなげていきたい。

7. 今年度の事業の対象とするエリア

新川を中心とする大和田機場から阿宗橋までのエリアを対象とする。

